



## 御室仁和寺の桜と兼好法師の双ヶ丘そして太秦古墳群をめぐる

おむろ

御室仁和寺の桜は、昭和年間には、京都の人間にとって、それを見ないと春への義理がすまないとされたものでした。仁和寺の歴史を振り返りつつ、「御室の桜」を観賞します。

そして、仁和寺のすぐ南、三つのなだらかな丘が続く「双ヶ丘<sup>ならびがおか</sup>」では、教科書でおなじみの兼好法師ゆかりの場所と、一の丘の山頂を訪ねます。山頂からは、眼下の仁和寺境内をはじめとして嵯峨野・<sup>うずまさ</sup>太秦地域の眺望を楽しむことができます。

太秦から嵯峨野にかけての一带は、桓武天皇の長岡京・平安京遷都に大きく寄与した<sup>はた</sup>秦氏一族の居住地でした。そこには6世紀から7世紀初頭にかけての多数の古墳が残されており、今回はその代表格の前方後円墳<sup>あまづか</sup>「天塚古墳」と<sup>へびづか</sup>「蛇塚古墳」を訪ねます。

Aグループ 福嶋昭治

### 記

1:日時 2025年4月10日(木)

2:集合 10:30 嵐電北野線「御室仁和寺」駅「北野白梅町」方面ホーム改札口

3:持ち物 弁当・飲み物・敷物

4:行程 10:30 嵐電「御室仁和寺」駅【集合】…… 10:40 仁和寺（御室の桜）11:30 …… 11:40 オムロン発祥の地…… 11:45 長泉寺（兼好法師墓・非公開）…… 11:50 双ヶ丘こもれびの広場（昼食）12:20 …… 12:45 双ヶ丘一の丘 13:00 …… 13:20 御室仁和寺駅 13:28 発＝ 13:34 帷子ノ 13:45 …… 13:55 蛇塚古墳 14:15 …… 14:30 天塚古墳 14:45 …… 14:55 千石荘公園 15:10 …… 15:15 嵐電天神川（地下鉄「太秦天神川」）【解散】

…… 徒歩      ＝＝ 嵐電電車

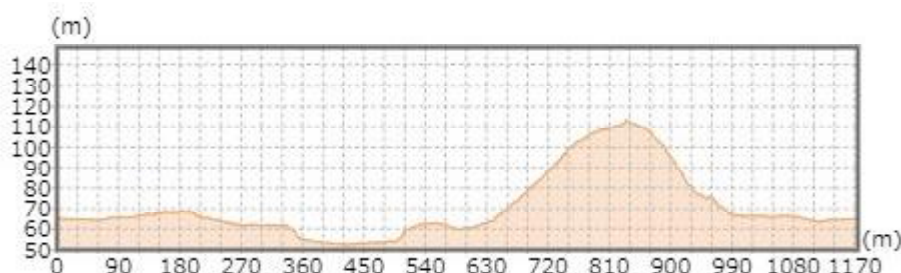
5:その他 ①阪急京都線の梅田方面から来られる方は、「西<sup>さい</sup>院<sup>いん</sup>」（準急・各停しか停まりません。特急は「桂」駅で乗り換えです）で嵐電に乗り換えてください、前から2両目の北改札口を出て地上に上がり、左に回り込めば嵐電「西院<sup>さいいん</sup>」駅の嵐山方面ホームです。

京阪電車で来られる方は、京阪三条で京都地下鉄東西線に乗り換え、「太秦天神川」駅で嵐電嵐山線の嵐山方面に乗り換えてください。

②嵐電は全国の交通系ICカードが使用可です。乗車時や乗り換え時はタッチの必要ありません。下車時のみタッチが必要。一回250円。下車は車両の前方ドアからだけ可能です。

③集合場所の「御室仁和寺」駅にはトイレがありません。駅から徒歩3分の仁和寺境内にあります。

④桜観賞の後は、いったん「御室仁和寺」駅に戻ります。そこからオムロン発祥地碑・長泉寺前を経て「こもれびの広場」（昼食）。さらに、双ヶ丘一の丘に登り、「御室仁和寺」に戻ります。この間の行程は、標高差60m 歩行距離1100mです。



御室仁和寺駅からふたたび同駅に戻るまでの行程の地理院地形図断面。

縦横比 3:1

国土地理院地図

